

令和 7 年度入学試験問題（後期日程）

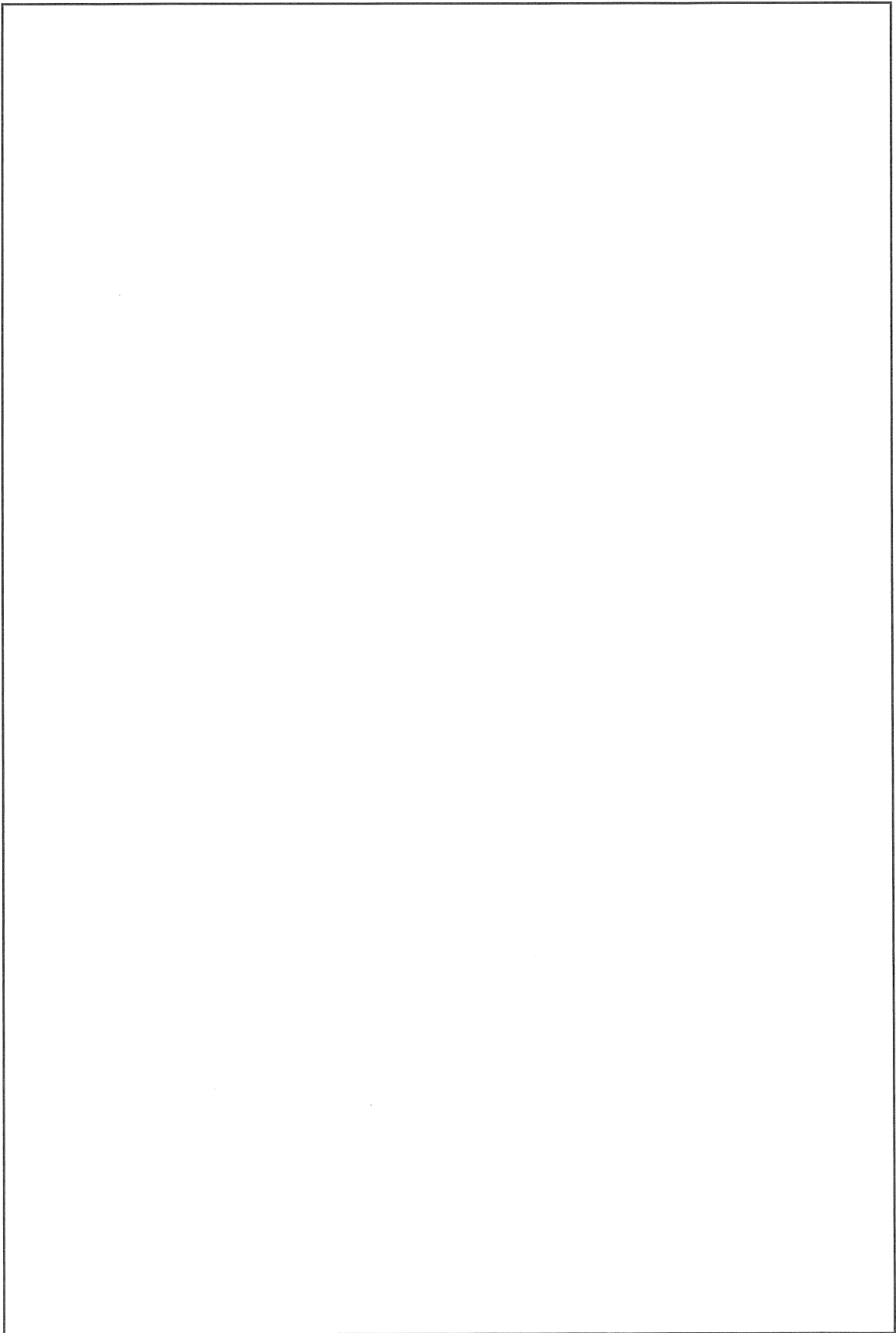
小 論 文

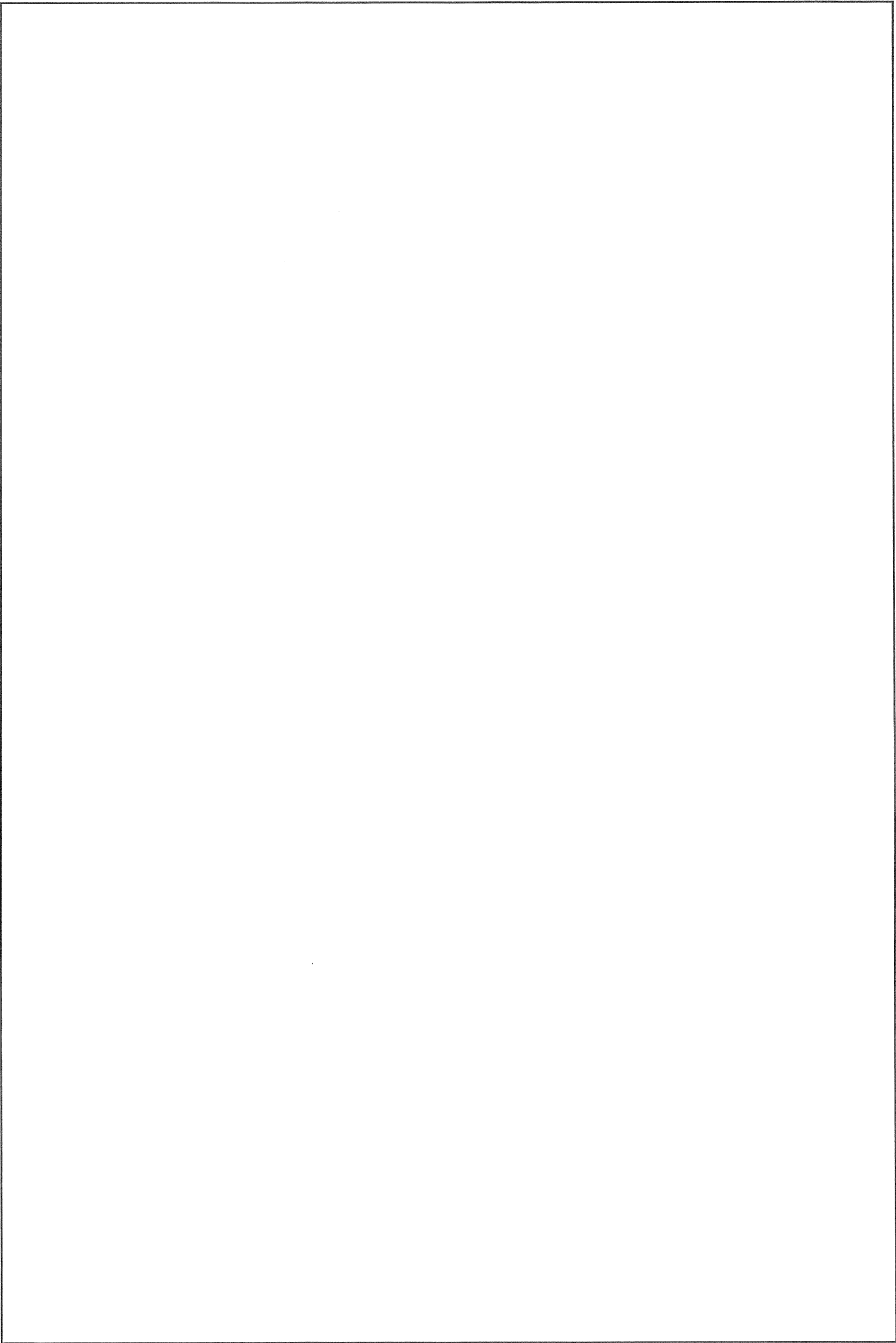
（経済学部）

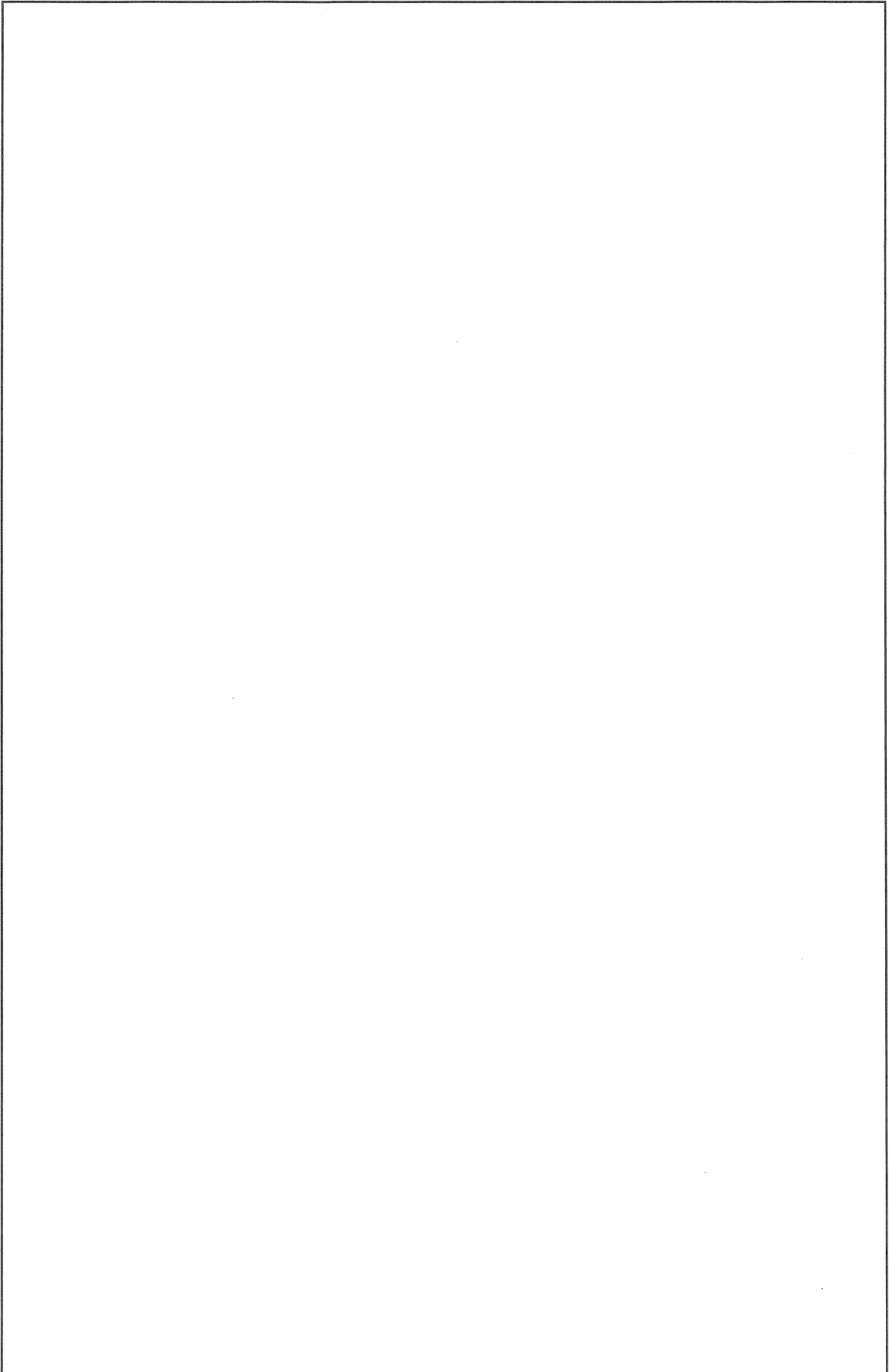
－ 解答上の注意事項 －

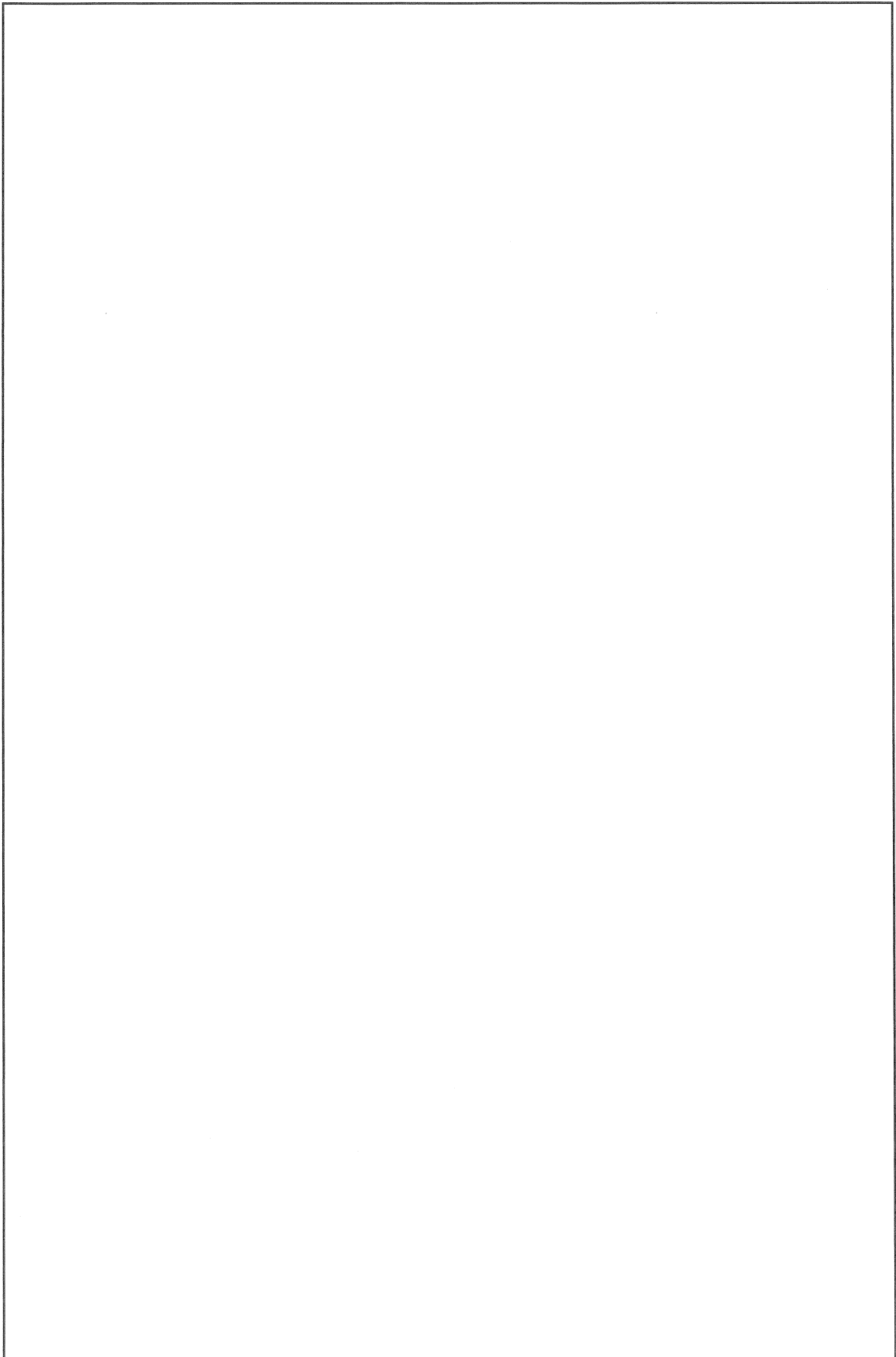
1. 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
2. 問題冊子のほかに解答用紙 3 枚及び下書き用紙 2 枚が配布してある。
3. 解答は横書きとする。
4. 全ての解答用紙を提出すること。
5. 問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。

問題 以下の文章は、財政と社会保障について、論じたものである。問題文を読み、文末の設問1から設問4に答えなさい。









出所：神野直彦『財政と民主主義——人間が信頼し合える社会へ』岩波新書、2024 年。ただし、問題作成のために、一部を改変した。

設問 1 下線部（1）の「帰属所得」とは、何を指すか。100 字以内で説明しなさい。

設問 2 下線部（2）にある「『社会保険国家』から『社会サービス国家』への転換」が叫ばれるようになったのは、なぜか。本文の内容に即して、200 字以内で説明しなさい。

設問 3 社会保障の給付方法には、下線部（3）にある「現金給付」と、下線部（4）にある「現物（サービス）給付」があるが、それぞれの方法の長所と短所は何だと思うか。あなたの考えを 300 字以内で述べなさい。

設問 4 問題文の著者は、この後に続く本文で、教育サービスの無償化を主張している。設問 3 で答えた現金給付と現物給付の長所・短所を踏まえて、教育サービスの無償化について、あなたの考えを 500 字以内で述べなさい。